

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の国語「インターネットの投稿を読み比べよう」の単元で、ジャムボードに本文の画像を貼り、文構成を捉えるために色別で線を引く活動を行った。それにより視覚的に互いの考え方がわかり、比較して検討することで、文構成のポイントをつかむことができた。またチャットアプリを用いて実際に記事にコメントする活動を終末に行い、短い文の中でチャットで議論する際の注意事項を再認識することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の社会の授業で、グループで話し合うときにジャムボードを使用し、個人⇒グループ⇒クラス全体、といった順番で意見を考え交流することができた。 3年生では、クラスに入って勉強することが難しい児童（集団活動が苦手な児童）のために、教室と別の教室をgooglemeetで繋ぎ、授業を行った。クラスに入ることができなかった児童の学習機会を保障することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	3から6年生の授業で、付箋紙アプリを用いてお互いに考えを出し合った。そのデジタル付箋紙を基によりよいものにするために、分類することやまとめることなどの話し合いを行い、子どもたちは「授業の目あてを意識した友達や自分の考えの話し合いになっているか」を確かめながら進めることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	自分の姿を撮影し、成長や課題を見つけ、よりよいものになるように見直す活動。 国語科の話すこと聞くこと話し合うこと単元や、体育のマット運動、ゴール型など、主体的に課題を見つけることができた。また、どの学年でも実践することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の国語の授業で、教科書の資料を読み取り自分の考えをもつ。資料を読んでわかることや自分の考えをジャムボードに貼り付け考えを交流した。それにより、クラス全体での意見の交流がしやすく、いろんな視点に気がつくことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の総合のお米の調べ学習をスライドを用いて個人制作で行った。個人で発表後、クラスルームのチャットのコメント機能を用いて助言し合った。これにより、自分が課題を持って調べてきたことの価値を再確認し、さらに追求して調べていきたいと感じているようだった。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の国語のアンケートから報告をする授業で、Googleフォームを活用する事で集計など時間をかけずに行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の総合「未来の湖北探検隊」で、町の良いところや課題をジャムボードの付箋を使って仲間分けしたことで、分かりやすく、児童も使いたいと意欲的に活用できた。 ・図工の作品カードをスライドで作成することで、写真や振り返り、担任からのコメントも入れられて、必要なときに振り返ることができた。 ・6年社会科で教師が与えたい資料をスライドに貼りつけて、児童がいつでも閲覧できるようにする。単元の中で、必要なものを更新していくことで、資料を比較したり総括したりすることができた。 ・2年生の算数「かけ算」の学習で、求め方を考える場面でjamboardを使用したことで、図形を動かすだけで操作が簡単で、後から見直すこともでき、よりよい評価につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の道徳の授業の導入の場面で、メンチメータを用いて児童が最初に考えている「親友」についての意見を視覚化し全体で共有でき。それによって、授業の最後に考えた「親友」と比較することができ、自分の学びが分かり価値の変容に気づくことに繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	国語科や総合的な学習の時間に、自分の考えを書く場面で、ドキュメントの音声入力機能を使用した。書く、打つより速く文章を表現することができる。文字を書くことが苦手な児童も使いやすい。文字カウントもできる。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・・・音読を録音、資料や本の一部をクラスルームで共有 ・社会・・・児童用のデジタル教科書の使用 →絵や写真の細かいところまで ・学活・・・ジャムボードを使い、話し合い ・その他・・・スライドを児童分作り、クラスルームに投稿 作品を写真で取り貼り付け →密にならずに児童同士で作品の共有
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の家庭の授業で、ジャムボードとスライドを用いて献立作成をした。3年生の理科の授業で、生き物と植物の成長を写真とスライドでまとめた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4年図工のお互いの作品鑑賞では、共通課題として提示することで、同じ時間に多数の児童がひとつの作品について鑑賞することができた。 ・5年の家庭科では、各種手縫いの方法動画を準備し、ストリームに挙げることで、各児童が好きな時にこちらが用意した動画を見ながら手縫いの確認をすることができた。 ・6年社会の学習では、事前に次時の課題を与え、家庭学習でまとめてくるようにした。授業の中で、自分のしらべたことを共有したり、考えを広めたりする時間が増えた。 ・2年国語の学習で、家での手伝いを紹介する単元の中で、ジャムボードの付箋に工程をメモして行って、並べ替えたり削除・加筆したりした。それにより、必要な情報の取捨選択が分かりやすくなった。 ・2年生の生活科の学習では、おもちゃ作りの工程を動画にしてクラスルームで共有したことで、児童が個人のペースで手順を確認しながらおもちゃを作成することができた。 ・低学年では、生活科で育てている植物を写真により成長過程を残すことで、前時の振り返りや比較がしやすくなった。 ・1年生の国語の授業で、ビデオ通話を使い、他校と交流したこと。ねらいを達成するための児童のやる気があがった。 ・国語の発表や体育の演技を動画で確認し、個人やクラスでふりかえりをした。 ・クラスルームで児童に知らせたいことを発信しやすくなり動画も見せやすくなった。 ・交流学級と特別支援学級との授業の様子を見せる等、クラス間の交流がしやすくなった。 ・写真や調べたことを資料として教科の成果物に利用しやすくなった。 ・クロムブックに教材のデータを入れたことで、資料や図を引っ張ってきて貼り付けてドキュメントでまとめることができ便利だった。
小学校・義務教育学校（前期）	1ヶ月の学び合いチェックシートの結果から、次の1ヶ月の目標を考える際にジャムボードの背景にチャートを挿入し、こどもたちがふせんで自分の考えを貼り付けた。何を課題と感じているのか共有し、類型化することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	算数科の面積の授業で、Jamboardを用いて考えを共有した。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の社会科の授業 複数のスーパーマーケットのチラシをグループ内で分担し、食料品の種類別に産地を調べ、色シールで白地図にマークするワークシートを作成。グループのメンバーの白地図を合成し、気付いたことを伝え合った。複数の情報が集約されることで、個々の調査では曖昧だった産地の傾向が明確になり、学習課題の設定にスムーズにつなげることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学力調査過去問を各児童のタブレットに投影し、解かせた。注意する点を強調したり、プリントを配る時間を短縮したりすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	1年生の国語の授業で、じどう車ずかんの紹介にタブレットを用いた。紙に書いたずかんの写真を撮り、作品フォルダーで公開した。評価カードを使い、簡単に感想を伝えた。自分の席で、落ち着いて、様々な友だちの作品を見ることができた。タブレットなので、見たいところを拡大してじっくりと見ることができた。また、評価カードで感想を簡単に交流した。字を書くことが苦手な児童には、カードをひっぱるだけで自分の感想を表現できるためよかった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生では、デジタル教科書を用いて、大切な文章に書き込みをしたり、写真や動画を自分自身で活用しながら調べ学習を進めたりした。児童自身が必要な情報を見つけ出すための力を育成することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の算数の授業で、タブレットで入力した個人の考えを画面共有した。それにより、自分と友達の考えの相違点を見つけて質問したりするなど、学び合いが深まった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図工の鑑賞の学習で、発表ノートを使ってお互いのよさを伝え合った。 ・ 国語の授業で、季節の写真と自分が作った季節の詩をパワーポイントにのせて、発表した。完成したスライドをカラー印刷して掲示した。 ・ 体育のマット運動で、自分の動きをタブレットを使って確認し、技能の向上に生かした。 ・ Scratch機能を使って、比例や反比例のグラフをかいた。 ・ Skymenuの「資料置き場」に課題解決のための図形を置いておき、児童が説明する際の根拠として活用させた。
小学校・義務教育学校（前期）	生活科で、「かんさつシート」を作成した。野菜のかんさつをすべて1つのシートで行った。それにより、絵をかく時間が短縮でき、観察に集中することができた。また、観察物の変容を容易にとらえることができるようになった。
小学校・義務教育学校（前期）	体育の授業「マット運動」で、NHK for schoolを視聴させ、自分の演技をカメラで撮影させた。それにより、マット運動の技のポイントに気づき技を身に付けることにつながった。1年生の算数の授業で、たしざんの計算方法を考える際、タブレットを使うことで、課題に対する意欲が見られ、10のまとまりを簡単につくることができた。また、適用題を解く場面でもタブレットを活用し、個に応じた進捗で進められ、達成感を感じられる児童が多くいた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の算数の授業で、導入部分にパワーポイントを使って図形の仕分けをした。次に何が来るのかワクワクしながら図形を観察し、課題である複合図形を登場させたとき、「解いてみたい」という意欲につながることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	・ 4年生の算数科「面積」の授業で、L字型の面積を求めるときに、画面共有機能を用いて面積の求め方を説明した。それにより、図と式を関連づけた説明をすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の社会の授業で、タブレット上で複数のグラフを見比べたり、気づいたことを書き込んだりすることで、全体ですぐに共有することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	QRコードの読み取り先の動画や画像を効果的な場面で提示し、児童の学びへとつなげることができた。また、Sky Menu classのグループワーク機能では、お互いの発表ノートをグループ単位で交流することができ、コメントの付け足しやスタンプ等を用いて、タブレット上で意見などの交流をすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語の授業で、意見文を交流する場面の中で、SKYの「みんなの作品」の機能を用いてお互いにコメント機能で感想交流し合った。それにより、自分と同じ意見であっても理由が違うことに気づくなど、自分の考えと比べながら交流し確かめることにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>スカイメニューのアプリを使った実践</p> <p>図工：【みんなの作品】を使って、各自作品をカメラで撮影し、互いに鑑賞して付箋にコメントし、はりつけた。良いと思った場所に付箋が張り付けられたり、視点別に付箋を色分けできるので、意味のある振り返りとなった。</p> <p>国語：【発表ノート】を使って、国語科で人物相関図を表したこと。人物同士の関係をつないでいくことや人物像を表していくことで、人物同士の関わりを捉えようと、叙述に戻り心情などを読み取ることにもつながった。また、加筆修正が手書きより早いのも便利。</p> <p>算数：【投影機能】を使って、個別画面に送信し、ペンでマーキングすることで、より理解が深まった。他の児童の学習内容を送信して共有できた。</p> <p>体育：動画を撮りスロー再生をしてお手本動画と比べることで、自分たちのフォームを振り返り、自分の動きの改善につながった。</p> <p>その他日常的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝自習での「言葉の宝箱」の短文作成に【発表ノート】を活用した。友達との共有、また自分が作った分を貯めていけるのでよかった。 ・ 【投影機能】を使って見えにくい資料を、手元のタブレットに投影して問題に取り組ませたことで、子どもの意欲にもつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年社会の歴史の授業で、タブレット端末を使って資料を提示できたことで、印刷する手間が省けた上に、一人一人が鮮明に資料を読み取ることができる。 ・ 6年国語の授業で、卒業文集を書く際、wordを使うことで、添削するのがかなり容易になった。 ・ 3・4年体育。今年の運動会は無観客で行った。花笠音頭をカメラで撮影し、タブレット持ち帰りの日に保護者に見せ、感想を聞いてくる宿題を出した。保護者の満足度も高かった。
小学校・義務教育学校（前期）	5.6年の総合でプレゼンテーションソフトを使い、学習のまとめを行った。文章を打つことに加え、フォントを変更したり、アニメーション付けたりするなど様々な技能を身につけることもできた。またプレゼンテーション技能も身につけることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	第2学年の図画工作科の授業で、互いの作品を見合う場面で、タブレットPCにおいて作品を公開し合い、友達の作品に、付箋機能を用いて「よいところ」などのコメントを伝えた。多くの友達の作品を見ることができ、また、コメントの送受信をし合い、楽しんで学習することができた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の算数の授業で、自力解決後に自分のノートの写真を撮って教師に提出した。その後の共有でノートの写真を何枚か画面に並べることで共通点に気付かせたりすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の算数科「面積」の学習で、学び合いをノートではなくタブレットを使って行かせた。児童は友達に自分の考えを説明することため、画面に線を引いたり、言葉を書いたりした。ノートで行わせるよりも多様な考えが出て、深い思考に繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	1年生の国語の授業で、限られた数しかない「車の本」を事前にスキャンし、ICTを使って行った。従来よりも一人一人がじっくりと学習に取り組めた。 4年生の国語の学習で、教師が作成した動画（よい例とよくない例）をもとに、発表の仕方を子どもたちが考えて自分たちの発表に生かした。相手意識・目的意識を持って伝える活動の主体性と意欲を高めることができた。 5年生の図画工作の授業で、作った立体作品（動きがあるもの）を子ども自身が紹介する動画を作成し、共有したり提出したりした。机間指導だけでは気づかなかった児童の思いや作品の良さを共有し、評価に生かすことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	道徳の授業で、ミライシード（ムーブノート）を使って意見を交流した。お互いにコメントをつけることで、認め合える雰囲気につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	社会の調べ学習のまとめに、「Googleサイト」を用いた。ポスター感覚で気軽に作成できた点、紙のポスターではできないサイトリンクなどがあり、より多くの情報をまとめることが容易になった。
小学校・義務教育学校（前期）	音楽の鑑賞の授業で鑑賞曲を配信し、児童が自分の聞きたいところを何度でも聞ける環境を作ることで、聞き取ってほしいねらいにせまることにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の国語の授業の話し合い活動の場面でグループごとに話し合いの様子を動画撮影した。活動を振り返るときにその動画を見ることで、めあてが達成できたかどうかや友達のよかったところなどを確認することができた。また評価を行うときにも活動の様子を確認することができたので効果的だった。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の図工の絵の具ひっばレインボーという題材で、鑑賞後に、作品の完成までの見方や考え方を広げるための意見交流として、Jamboardを活用した。自分の考えを残し、次の授業につなげるという面で、Jamboardの活用は良かった。その一方で、実際の作品があるので、実物に直に触れながら意見交流してもよかったのではという意見もあった。図工などでは、実物に触れることで色合いや肌触りなどの大切な情報を得ることができるので、ICT的な視点とアナログ的な視点の両方をうまく棲み分けて授業を展開することが重要だと感じた。 5年生の算数の「面積」の単元で、大型電子黒板を使用した。ジャムボードに図形の写真を配置したファイルを作り、児童は個人思考した考えを電子黒板に書くことで交流した。電子黒板の良さである大きいことやペンの色をすぐに変えられることから、面積のどこを底辺や高さにするのか、長さは何cmなのかを記入して共有することができた。子どもたちが考えをつなぎながら、面積を求めたり、公式を練り上げたりする場面で有効に活用することができた。 6年生の外国語の授業で、夏休みの思い出を紹介するために、写真だけでなく、英文もつける形のスライドを作り、そのスライドを見せながら発表を行った。また、4年生の外国語活動で、What do you want?と実際にピザのオーダーを取りながら、相手の要望の食材をジャムボード上で動かしながらリアルタイムにオリジナルピザを作成することを行った。「言語活動を行いながら、相手を意識しながら作業を行う」という場面設定に沿った活動を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語の授業で、成果物の教師モデルをオクリンクを使って全体に送信した。児童は教師モデルの内容をすぐに確認することができ、内容理解や自身の成果物作成につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生で、考えを出し分類・整理する時にjamboardを活用した。その後、お互いの考えを比較し、考えが広がったり、深まったりした。
小学校・義務教育学校（前期）	1、2年生の担任が、算数の研究授業で図形の単元を選んだことで、図形の単元ではクロームブックを活用しやすいとわかった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の社会科（歴史の）の授業で毎時のまとめを1枚のスライドでまとめていった。次時の導入の際に前時を振り返りやすくなったこと、単元のまとめにも活用でき有用であった。
小学校・義務教育学校（前期）	国語や外国語で成果物をつくる場合に、端末を使うことで、児童の意欲を高めながら、また、効率的に作業を進めることができた。理科では、各班の実験結果をexcelに打ち込むことで、すぐに表やグラフに表して共有することができた。また、昆虫の体を観察する際には、上下左右から観察することで、深い理解につなげることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	1・2年生の算数の習熟を図る授業で、eライブラリのドリル機能を利用した。進度や理解度に合わせて個人で学習できた。 5年生の国語の授業で、意見文を推敲する場面で、タブレットの資料と意見文を比較しながら話し合っていた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生総合的な学習で保護者アンケートを作成し、QRコードで配布したことで、多くの情報を集めることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	・算数の倍の見方の学習で、児童が操作できるテープ図のデータをつくり、タブレット上で操作させた。何倍になっているかをテープ図を動かして考えることで、「～のいくつ分になっているか」を把握させる手助けとなった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の外国語の授業で、自分の食事を紹介する場面の中で、パワーポイントを用いてプレゼンを行った。資料や図、写真などが利用しやすく、また相手意識をもって取り組むことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の算数の授業で、ある地形の面積を既習の図形に見立てて概算する場面があった。アプリを使って、教師が本来ないはずのマス目シートを地図に示すことで、子どもたちは、そのマス目を使って直線をひいて既習の図形を考えることができた。子どもたちは、作図に時間を取られずに、既習の図形に見立てて面積を概算すること、本当の面積にできるだけ近づくような図形を再検討することに焦点を当てて思考し、学びを深めていた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語で、伝記を読み、人物の生き方や考え方と自分を比べる際に、「SKYMENUクラウド」の「ポジショニング」機能を用いて、共感できるか、自分も真似してみたいかを位置づけさせ、全員で共有させた。それにより、他の児童の考えや、クラス全体の傾向を、児童が瞬時に把握することができた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	3, 5年生で国語の並行読書の紹介に、児童が全員説明動画を撮影し、見合って振り返りを行った。何度も取り直しがきき、全員が取り組めた。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の算数の授業のかけ算の授業の時、L字型のドットをかけ算で求める課題で、発表ノートに問題を配布して、考えさせた。いろんな求め方ができる問題なので、児童が自分で問題をコピーして、意欲的に取り組む姿が見られた。交流する時も、その発表ノートを提示して、いろんな求め方を伝え合うことができていた。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の算数科の授業で、図形を分類する場面の中で、SKYMENUを使い端末で図形を操作し分類した。図形を大きくして詳しく見たり、要素をマーキングして確かめたりすることで、図形の定義の確認・定着を図ることができた。 2年生の算数科の授業で、かけ算の図を作成、互いに問題を作り出し合う場面の中で、SKYMENUを使いおはじきやドット図を操作して互いに問題を出し合った。それにより、かけ算の意味理解の深まりを図ることができた。 2年生国語科の授業で、音読劇を行い、音読の工夫をグループで確認しながら改善していく場面の中で、カメラ機能を使って自分たちのグループの音読を撮影して見直ししながら練習した。それにより、自分たちの音読を客観的に見ることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	算数の図形の授業で、スカイメニュー発表ノートを使って、図に線を引いたり色をつけたりした。それにより、視覚的に捉えさせることができた。 外国語の授業でイヤホンマイクを使った。自分の声を録音して聞きなおし、よりよい発音について考えさせることができた。 音楽の鑑賞の授業でイヤホンマイクを使った。個々のペースで、目的を持った鑑賞をすることができた。 国語の授業で、チームス内のワードを使って文章を書いた。回収や添削が簡略化することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生の社会の授業の、スーパーマーケット見学をする学習で、リモート会議の機能を用いて店長と会話した。それにより、全員で同じようにスーパーマーケットの中の様子を見たり、店長に質問したりすることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	1年生の図工の授業で、各自に完成した作品を撮影させ、教師に投稿させた。その後、その写真を使ってがんばったところや、見てほしいところなどを交流させた。
小学校・義務教育学校（前期）	チームズの活用 456年体育 動画を自由に視聴して、めあてを決め毎時間の振り返りを行った
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の英語の授業で、自己紹介をする場面で動画投稿機能を使い、前任のALTや市のALTに自己紹介動画を送り、返答をもらう学習を行った。それにより、児童は相手意識・目的意識を持って学習に取り組むことができた。 4年生の総合、福祉についての学習で、高齢者が日常生活で困っていることをJam boardで交流した。具体的には3、4人グループで貼り合った付箋を高齢者の困り感が大きい、小さいという視点で意見を言いながら、移動や分類した。子どもたちは、友達の意見に耳を傾けながら、高齢者の生活について意欲的に考えることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	学習のまとめをする際に、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトを使って、共有しているファイルに分担しながらまとめてみた。それぞれが別々のファイルを作ってつなげるより、それぞれの作業経過を確認しながらまとめることができた。統一感のあるまとめをすることができたりして、自分たちの力で仕上げることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生以上で、PowerPointに課題枠を用意し、Teamsで表示。学年に応じて枠の中にコメントや写真など入れ自分で編集させる。それを大型モニターでプレゼンすることで、例えば写真の有効性に気付いた児童が、次回はカメラ機能を使ったり、文字のフォントに工夫をしたりするようになった。また、プレゼン後「いいね」で即反応することで発表者も手ごたえを感じるようになるよう。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の算数「筆算の仕方を考えよう」では、波及的繰り下がりの方をジャムボード上の位取り表と付箋に書かれた数カードを使って考えた。それにより、教師の準備時間が減ったことや、児童それぞれのやり方を画面に写して筆算の仕方の話し合いに繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> 図工の授業で、作品の鑑賞をする場面でJamboardを用いてお互いに付箋でコメントをしあった。それにより、自分の座席で他の児童の作品を鑑賞することができた。また、ドライブにデータが残るので、いつでも過去の作品を見返すことができた。 社会の授業で、資料を配付する場面でGoogleクラスルームにファイルを貼り付け、児童が端末で閲覧した。それにより、教科書や資料集を使うより視点を焦点化することができた。 国語の授業で、初発の感想や終末のまとめをjamboardを活用して共有した。共有することによって参考にしたり、児童間でのフィードバックがしやすくなったりした。 社会科の歴史分野の授業で、各時間のまとめをスライドに蓄積していった。単元末に自分のスライドを一覧で見ることによって、単元の流れを確認しやすくなった。 体育の授業で、動画で手本を確認したり、自身の動きを遅延カメラで確認したりした。必要な時に自由にポイントを確認したり、自分の動きと比べたりできたので児童の動きの習得に役立った。 <ul style="list-style-type: none"> 算数の図形の授業で、図形を弁別する場面でjamboardを活用し図形のカードを自分で動かしたり、気が付いたことを付箋で記録したりした。それにより、何度でもやり直したり書き直したりすることが簡単になり児童が何度でも試行できるようになった。 生活の授業で、端末で花や野菜の写真を撮影した。絵で記録するよりも分かりやすく、前回との変化も見つけやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	1年生の国語科の学習において、平行読書を行う際に本をPDF化してクラスルームにアップすることで、児童がいちいち立ち歩いて本を取りに行かなくても隙間時間に自由に読書することができた。また現物の本を各児童が手にして読むと本の数が足りないということも解消できてよかった。さらに拡大して表示させることができ、説明文など写真が多く取り入れられたものについてはより効果的であった。 5年生の総合科の学習「SDGs GoogleMeetとジャムボードを活用した授業展開」において、工大と連携することで、高度な使用のしかたを提案・準備してもらえ、GoogleJamboardを使ったオンライン上でカードゲームを体験することができた。児童がかいたカードがいつでもだれでも見合うことができ、教師は進捗状況を、児童はほかの児童の様子を確認しながら共同的に作業を進めることができた。児童は、前向きに取り組んで、学びの質は向上した。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生国語科「くじらぐも」 音読の練習で、タブレットを活用し音量の波形を見ながら音読練習を行った。それにより、意欲的に音読ができた。また、声の出し方や読み方を考える機会になった。タイミングを合わせることでできたり、波形の変化から声の大きさの成長を実感することができた。 ・2年生生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」 動くおもちゃを工夫して作る場面で、おもちゃの作り方の画像やおもちゃの動きの映像を個人のタブレットで閲覧できるようにした。それにより、児童が個々に好きなタイミングで見たいおもちゃの動画や画像を見て、効率よく作業を進められた。 ・3年生国語科「食べ物のひみつを教えます」 調べたことを整理するときに、付箋をつかってマッピングをさせた。マッピングをする際、付箋の赤⇒食品、青⇒おいしく食べる工夫、黄色⇒すがたを変えた食品名としたことにより、分かりやすく整理することができた。 ・6年生社会科「江戸幕府と政治の安定」 江戸幕府の諸政策をジャムボードを用いてYチャートに整理させ、幕府の政策に対して大名、百姓、貿易商人がそれぞれどのような思いをもったのか分析をさせた。それにより、分からない政策などについてグループでの話し合いが活発になった。また、江戸幕府との関係が視覚化され、人々の思いが結びつけやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の算数の縮図を作図し、実際の長さを求める授業では、自分の考えを持つ時、どの部分の縮図を作成すればよいのかを友達の考えを全体で見ることができたことにより、比較しながら考えを持つこと・深めること確認することができた。全体交流においても、友達の考えが端末と電子黒板掲示されたことで、求め方を考える手立てとなることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語で、話し合いをまとめる場面で、ジャムボードを用いてアイデアを出し合った。また、思考ツールを自分たちで選択し、背景を変更するようにしたことで、自分たちの話し合いに必要なポイントを意識することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の理科の授業で図で描いた予想を写真で撮ってオクリンクにのせることで、全員の考えを見合うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の国語科の授業で、オクリンクを使って児童の考えを共有することで、児童1人1人が瞬時に友達の考えと比べ、共通点や相違点に気付くことができた。 ・5年生の音楽科の授業で、児童1人1人がフォームを使って振り返りをし、AIテキストマイニングで集約することで、学級全体の振り返り内容を視覚的に短時間で共有できた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>2年生の国語の授業で音読劇の練習で動画を撮影した。グループで動画を見返し、もっと工夫したら良いところを話し合わせた。繰り返し聞きたいところをなんどでも再生できるので、特に練習したい場面に注目させることができた。</p> <p>6年生の算数「およその面積と体積」の授業で、自分が選んだ国や県の地図の写真を撮り、どのような形と見ておよその面積を求めたのか図形の線を引いて面積を計算させた。オクリンクに提出することで友達の考えも短時間で共有できた。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	5年理科「流れる水のはたらき」では動画を撮影しながら実験させた。何度も繰り返し見たり、後から他の班の実験と比べたりすることができたため、三作用の大きさの変化について捉えることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の算数で三角形の識別を行う授業で、オクリンクを使って三角形を自由に動かして自分の考えを発表することができた。図の操作から、発表までスムーズに行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	クラス全体で共有したいことをクラスルームを通して見て、意見を交流することができた。5年生の国語の授業では、書く単元で活用した。まず下書きはドキュメントを使って書いた。修正することも容易にできた。下書きをもとに清書をする際にも自分のドキュメントに書いたものを見ながら、スムーズに進めることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生社会科の学習で、高低差を捉え、田に水を引く工夫を考えさせるために、国土地理院のホームページからツールの断面図を使用した。ため池と田の間に山があり、トンネルを掘る必要があったことをつかむことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5・6年生が他の小規模校と一緒にいる野外活動の話し合いを複数回オンライン上で行った。それにより、以前と比べて準備に時間がかからない交流活動を行うことができた。また、事前にお互いが顔見知りになることで、本番の野外活動ではスムーズに交流することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生の道徳で児童の考えを交流する場面で、ミライシードの「ムーブノート」を活用することで、普段は発言の少ない児童の考えをピックアップでき、学習の深まりにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	3年生算数の球の授業で、デジタル教科書を用いて、いろいろな物を立体的に動かして形を確認した。それにより、球の定義である「どの向きから見ても円に見える形」を全員で共有することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>2年生で学校のすてきを見つけ、伝える学習でミライシードを使いプレゼンを作成した。まだローマ字入力ができないので、手書き入力でタイトルや補足説明を書いたり、写真や動画を多用し学校の素敵を視覚的に伝えることができた。</p> <p>高学年では国語などの作品を作る際に自分が必要な資料を写真に取り作品に取り込むことができた。児童も作品が作りやすく、教員も写真を撮り、印刷して配る手間を省くことができた。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の歴史の授業で、江戸と明治の同じ場所の資料で変わったと思うところにスタンプを置くといったムーブノートのスタンプ集計を活用した。そうすることで、自分の考えを発表することが苦手な児童でも主体的に授業に参加することができた。また、どこを選んでいるかが一目で分かり、自分と友達の考えの着目点の比較がしやすくなった。その結果、なぜ自分と共通したところを選んだのか、また違うところを選んだのかを聞きたくなる必要感が生まれ、対話的で深い学びにつなげることができた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の英語の授業で行った発表を、QRコードを使って全校の児童が視聴できた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の算数の授業で、平行四辺形の面積を求める場面で、ミライシードのオクリンクのデジタル教材を使用し、一人一人の考えを共有したり、説明場面でテレビに映したりした。デジタル教材を使用することにより、操作活動が手軽になり、全員が考えをもつことができた。また、全員が分るように、矢印や移動した後の図をかき加えるなど表現の工夫をする児童が多かった。これにより、平行四辺形の性質に着目し、面積の求め方を考え、説明することができることにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の総合的な学習の時間で、認知症に関わるいろいろなテーマを設定し、調べ学習を行う際に、グーグルの検索機能を用いた。調べた内容を、スライドを活用してまとめ、他学年に発表した。多くの情報の中から必要なものを選択したり、まとめ方を工夫したりする力を伸ばすことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の「平行四辺形の作図」で作図が上手く出来なかった児童が出てきたため、オクリンクで自分たちの平行四辺形の作図を撮影したデータを送らせ、自分の作図の仕方が正しいのかチェックさせた。自分たちの作図をチェックさせることで、間違っていた児童はどのように作図すればよいのか気付くことができた。2年生の「九九」の学習で身の回りにある九九を教室や家から探させ、どんなかけ算になるのか自分で見つけたかけ算を写真で撮り、1つ分の数ずつに困んだものをオクリンクを使って共有した。児童は意欲的にかけ算を探そうとしていた。また、1つ分といくつ分を正しく理解しているかのチェックすることにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6年理科の授業で、実験の様子を動画に撮って記録した。実験の様子を繰り返し確認でき、結果を確かめるだけでなく、手順や条件なども丁寧に見るできるようになった。 ・2～6年算数や理科の授業で、ノートに書いた自分の考えを撮影し、オクリンクで提出させた。児童は、全体の考えの傾向や一人一人の考えを手元でじっくり観察することができるようになり、自分の考えと比べたり、よい考えを参考にしようとしていた。 ・4年体育の授業で、キャッチバレーボールの試合前の作戦会議でジャムボードを使って作戦を立てた。オートシェイプを使って、自分や友達の位置を確認しながら作戦を立て、試合に生かすことができた。また、試合の様子を動画で撮っておくことで、より具体的な作戦会議ができるようになった。 ・5年理科の授業で、実験の結果をムーブノートを使ってまとめた。グラフを用意しておき、各班の結果をスタンプ機能を使ってまとめ、まとめたものを一人一人に送付することで、全体の結果からわかることを捉えやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームで、画像等を児童に送ることで、児童の手元で資料を見せることができたこと。 ・カメラアプリを用いて、観察物や図工の作品などを、写真や動画にして保存することができたこと。そして、それを学習で活用できたこと。 ・中学年以上は、ミライシード等を用いて、児童の考えを見える化し、分類したり、統合したりして、学習を深めるツールとしてタブレットを活用できたこと。 ・高学年は、スライドやドキュメントを共同編集することで、学びを一つにまとめる経験ができたこと。 ・3年生の総合の学習で、他校とオンライン交流を行い、発表の場が広がったこと。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語の授業で、ドキュメントアプリを使って資料を基に考えたことを記述する場を設けた。その中では、教師が即座にコメントを入れることができ、1人1人に必要な支援を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の国語の授業で、リーフレットの下書きをドキュメントアプリを用いて書き、班で見合ってコメント機能で助言し合った。相手に伝わりやすい表現の仕方を確かめることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生算数科の授業で、図からかけ算の立式を考える場面において、スライドアプリ（ミライシード：オクリンク）を用いて図の操作や書き込みを行ったことで、「一つ分の数」「いくつ分」といったかけ算の構成要素の着目しながら式を考え、その式の意味を説明し合う姿が見られた。また、5年生社会科の授業で、日本の食料問題について複数の資料から考えを構築し考えを深める場面において、ホワイトボード機能（Jamboard）で課題解決のために必要な複数資料を選択して結び付け考えを構築し、それをスライドアプリ（ミライシード：ムーブノート）上でグルーピングして話し合ったことで、一人では気付かなかった資料の読み方に気づき、さらに考えを深めて自分の考えを再構築することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生社会の授業で、ジャムボードを積極的に活用している。課題に対する予想や分かったことや考えたことを付箋に書き出させた後、その付箋を読み上げていくのではなく、付箋をグルーピングして共通点や相違点を話し合わせることにした。そうすることで、深める時間を多く確保できるようになった。6年体育の授業で、動画機能を積極的に活用している。技のお手本動画をNHK for schoolやYouTube等で拾ってきて、クラスルームに投稿し個人が視聴できるようにしておく。その動画を視聴しながら自分の様子を動画で撮影し、比較することで深い学びにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	5年学級活動で、一人ずつ思考ツールにこれまでの活動や思いを打ち込み、それをもとに共同作業で次ががんばりたいことを話し合っていた。それぞれの考えを生かしながら、話し合うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の国語で自分で音読を録画し、フリップグリッドに投稿し、全員で読み方の良いところを確認し合った。
小学校・義務教育学校（前期）	毎月実践レポートの交流会を低・高ブロックで行った。それによって、良い実践の伝え合いや学び合いに繋がった。授業中ICTを児童に使わせた場合、週案にiマークを書き込んでもらい、それを集計した。それによって、普段の授業の中で児童にICTを活用させる機会を持つようとする意識が高まった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の社会科の授業…資料から情報を取り出すグループ活動の場面において、ホワイトボードアプリを活用することでお互いの考えを確かめ合いながら話し合いを進めることができた。複数の視点から資料を読み取ることにつながり、理解を深める上で効果的であった。
小学校・義務教育学校（前期）	4年体育：器械体操で、ジャムボードに各技のポイントを整理し、お手本動画のURLも載せておくことで、子どもたちが自分の技能に応じた技を選択し、それぞれで試行錯誤できるようにした。 5年社会：工業や水産業、農業の学習において、資料をミライシードのオクリンク、またはジャムボードで共有し、児童が、自分の考えの根拠となる資料を選択して自分の考えを表現する学習活動を行った。伝えたいことに応じた情報を選択する力、筋道立てて話す力の育成につながった。
小学校・義務教育学校（前期）	1年生の生活科の授業で、ジャムボードの付箋を用いて、秋のおもちゃで遊んだ感想やもっとよくするところを児童同士で共有した。共同編集することで、自分では気づかなかったことに気づき、秋のおもちゃをもっとよくするところを考えることができた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	道徳の授業で、考えを出し合う場面で、ジャムボードを使い、グループの話し合いを付箋にして可視化した。そうすることで、考えのグルーピングを通してお互いの考えの共通点や相違点が明確になり、話し合いに深まりが生まれた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット内で解いた問題などを送信し、電子黒板で映しだし、全体に説明したり、全体で多様な考えを共有したりすることができた。 ・音楽作成アプリを使って、児童それぞれが独自の曲を意欲的に作成することができた。 ・スクイメニューのポジショニング機能を使って児童の考えや気持ちの変容を見取ったり、全体で共有することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	児童の様子を動画で撮影し、児童が自分の成長の様子を確認することができた。外国語では、パフォーマンステストとして録画し、評価に生かすことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の総合的な学習の時間で、1人1台のパソコンを活用し、調べ学習を行った。まとめる際はプレゼンテーションソフトを使い、1人1人がスライドを作成し、発表することができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生社会「自動車をつくる工業」の単元の導入において用いた。お家の人がどのような理由で車を選んでいるのかを事前にインタビューしてもらい、オクリンクを使ってプレゼンを作る。さらにプレゼンを作るためにインタビューに意欲的に取り組んでいた。この活動を通して、画像の保存の仕方、オクリンクへの貼り付け方を同時に指導することができた。メーカーによってカードの色を変えたので、全体を見た時に何色が多いかすぐに分かり、視覚的に捉えやすくなることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の理科の授業で、流れる川の働きの実験結果を比較し考察する場面で、実験結果をカメラで撮影したシートをグループで作成し、それを個々のシートに考察を書き込んで交流しあうことで、新しい見方・考え方に気づき、お互いの考えを深めることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	2年生の算数の授業で、ミライシードのオクリンクで、箱の作り方を互いにライブ共有することで、箱の組み立てについて理解を深めることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	算数のたしかめ問題でfromsを使うことにより、その場で正誤判定ができるようになった。そして誤答の児童には個別で指導することができ、正答の児童は新たな問題に取り組む時間ができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の「ごんぎつね」において、話の流れを確かめる問題で、選択肢を色分けした問題をムーブノートですることによって、誰がどんな順番で並べているか一目で分かり、間違いにすぐ気づくことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	児童の考えを全体で共有することで短い時間で多様な考えに触れることができた。資料集めや言葉の意味調べにかかる時間が短縮された。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の算数の授業で、単位量あたりを使い、速さを比べる問題で、もとにする数を何にして考え、答えを導いたかをミライシードのオクリンクを使い、児童同士で考え方を共有した。その際、大型モニターに児童一人一人の端末画面を映し、シートの背景を色分けさせたことでどの方法で考えたかを教師側が見取ることができた。また、児童も考え方を共有する際に同じ考え方の人を瞬時に見つけ、交流に生かしていた。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生外国語の授業で、おすすめの国の特徴をGoogleで検索して調べた。調べた画像をスライドに貼り付けて発表会のときに使った。それらをする中で、検索や発表準備が素早くできた。また、発表スピーチをしながら資料(図・写真)を提示することで、聴き手は、その国の有名な食べ物や知らなかった物や言葉の理解が深まった。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の算数科ではジャムボードを用いた。ジャムボードを用いると作業に時間がかかるとはなるが、1年生でも、効率的に分類整理できることで、理解の定着を確実にすることができた。 ・第2学年、国語科ではカメラ機能を用いた。児童直接体験し、学んだことを補完する効果があった。 ・第3学年の外国語活動においては、スライドを用いて、児童個々で繰り返し操作し、英語表現に慣れ親しむ場を十分に設定できた。 ・デジタル教科書を用いた第4学年の算数科の授業実践では、はかり方を考えた場面で、補助線を正しく引くことができ、はかり方の考えを促すことができた。 ・第5学年の理科では、授業者がスライドを作成することで検索時間短縮となる上、様々な魚の雌雄の比較を部分拡大しながら理解を深めた。 ・第6学年の実践では、国語科において言語活動でサイトを利用し、他者評価をもらうことで、学年全体や児童個々で学びを実感できた。
小学校・義務教育学校（前期）	・4年生理科の授業で、jamboardを用いて金属や水のあたたまり方の予想・結果の記録を行った。矢印などの記号を用いたり、温度の変化を色分けして表したりするなど、自分の考えを多様に表現することができた。また、友だちの考えをそれぞれに見ることができ、活発に意見の交流を行うことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	国語の授業で、ジャムボード上で付箋や画像を大きくしたり小さくしたりして自分の考えを表した。それによって、全体交流の場面で児童それぞれの考えを把握しやすくなり、交流にスムーズにつながることもできた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入等でアンケートを取り、その場で提示して見せること ・ふりかえりを打ち込み、共有したり、評価に生かしたりすること
小学校・義務教育学校（前期）	<p>1年 ジャムボードを使って自分が作った朝顔のリースを友達と共有することができた。</p> <p>2年 生活科で行った町探検の写真をストリームに投稿することで、新聞・クイズ作りにかかわることができた。</p> <p>3・4年 器械運動の演技を動画で撮影しグループで見合うことで、よりよい動きを話し合うことができた。</p> <p>5・6年 総合でホームページを作成する際に、共同編集機能を使って協働的に活動できた。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	3年生の総合的な学習の時間に防災教育を行った。災害発生時、避難所に持っていくものを考える場面で、ジャムボードを使いアイデアを出し合った。この時、赤付箋は食料、黄付箋は衣類、緑付箋は日用品のように色で分けて考えた。グループでの話し合いを通して、「生活に必要なものをバランスよく持っていく必要がある」ことに気付くことができた。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生理科魚のたんじょうで、ジャムボードを用いてメダカのオスとメスのちがいを探し、見つけたところにふせんを貼り付け記入した。ちがうところを視覚化でき、見つけられなかった児童もすぐに気づくことができた。

所属校種	授業実践でよかった（効果があった）事例を記入してください。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「話す・聞く」の学習で、他校の児童とリモートを使い、発表に対する意見や感想をもらった。少人数学級のため、たくさんの人と交流するよい機会となり、深い学びへとつなげることができた。 ・1・2年生の図工の造形遊びの時間に、自分の気に入った場所の写真を撮影し、見合った。同じ場所でも多方面から撮影した写真を見合うことで、多面的な見方ができた。
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の音楽の授業で、和音を使って合唱部分の旋律をつくる場面で、Jamboardを使用しました。楽譜を背景にし、色分けした付箋にあらかじめ音階を記入しておいたものをClassroomから配布しました。児童は、付箋を動かし自分のパートの旋律をつくったあと、実際に鍵盤ハーモニカで吹いてみたり、友達を音を重ねてみたりしました。教師の教材準備の時間が省けただけでなく、友達のつくった和音に触れ、様々な音の重なりを体験でき、新たな気付きを得られた活動になりました。 ・5年生の家庭科の授業で、効率よくご飯とみそ汁をつくるための計画をJamboardを使用して実践しました。時間の数直線を背景にしたものをClassroomから配布しました。児童は、調理の画像を移動させ、調理する手順を考えました。自分の考えを持ちより、そのような手順にした理由をグループでそれぞれ発表し、よりよい手順に気付ける活動になりました。 ・2年生の国語の授業で、ドキュメントを共同編集できるようにし、「あいうえお作文」を入力しました。友達が作成している文をリアルタイムで見ることができ、見通しを持っていない児童も、どのように文を作ればよいか分かり、自信をもって取り組むことができていました。
小学校・義務教育学校（前期）	ジャムボードを使って、児童が図の説明をした。それにより時間短縮に繋がった。比較したり何回も見ることができて便利であった。また、普段発表しない児童も発表できた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>総合での調べ学習の発表を他校と交流したこと 3校合同の宿泊体験学習で班ごとの役割分担をMeetによる会合で決めたこと 算数科の形の学習でジャムボードをつかって資料を配布し、そこに書き込むことで考えを共有できたこと 国語科の書く学習でドキュメントアプリをつかって、清書し、読み合う活動でコメント機能を使って相互評価したこと</p>
小学校・義務教育学校（前期）	複式学級での算数科の授業において、考えを持つためのヒントカードをJam boardに用意して、Class roomで児童一人ひとりに配信した。間接指導時の自力解決場面で、児童が自分に必要かを判断して、ヒントカードを見たり、その中の付箋を動かしたりしながら自分の考えを持つことができていた。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>6年生の総合の授業で、総持寺について調べたことをまとめる時に、スライドを作成した。それにより、1人1人の使用する技術やまとめる力が向上した。</p> <p>5年生の算数の授業で、自分のノートの写真をジャムボードにはり、考えの共有をはかった。他の友達の考えを知ることができ、付箋機能でコメントも書き、理解を深める場面が見られた。</p> <p>4年生の学活の授業で、お楽しみ会のプログラムをスライドを用いて作成した。今までは、黒板に直前にしか書くことができなかったが、事前に余裕を持って準備することができた。</p> <p>3年生の総合の授業で、門前町の民話について調べたあとに、ジャムボードを使って紙芝居にまとめた。編集機能により全員の作っているものを見ることができ、まとめる際に活用できた。</p> <p>2年生の国語の音読劇で、練習や発表している様子を動画撮影した。それにより、自分の姿や友達の姿を客観的に見ることができ、改善につなげることができた。</p> <p>1年生の生活の授業で、朝顔を観察した時に毎回のように写真撮影を行った。それにより、変化をしっかりとらえてスライドに画像をはり、まとめることができた。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	算数科でjamboardを使い、ペアで考えを発表し合ったり、画面に2つの考えを並べて比較したりすることが有効的だった。また、適用問題は選択式の問題であればForms、記述式であればjamboardで見取ることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	4年生の音楽の授業で、リズムづくりをする場面の中で、ジャムボードを用いて自分のリズムカードを自由に増やすことができるようにした。カードだけでなく自分の考えや使いたい楽器等を書きこむこともできるため、互いの考えを見て自分のシートに付け足す姿や良さを認め合う姿が見られた。
小学校・義務教育学校（前期）	社会の授業で、問いから学習問題を考える場面で、ジャムボードの共同編集機能をつかって、問いを一斉に出し、分類化することで、スムーズに学習問題を考えることができた。
小学校・義務教育学校（前期）	国語や算数などの授業でジャムボード上に考えを出し合うことで、児童全員に考えを述べさせる機会を保障できるようになり、主体的な学びにつなげやすくなった。
小学校・義務教育学校（前期）	6年生の外国語の学習で、自己紹介を英語を用いて行う場面で、GoogleMeetを活用して海外に住んでいる外国人の方とリアルタイムで交流した。顔を合わせて自己紹介をすることで、自分が話している英語が伝わることに喜びや達成感を感じるとともに、「もっとこんなことを聞いてみたい」といった児童の外国語に対する意欲を高めることにつながった。
小学校・義務教育学校（前期）	5年生の国語科の相手が納得する意見文を書く単元で、予想される反論を考える時、ジャムボードを用いて、座標軸を用い、意見の比較・分類を行った。自分の意見への反論を見つけ、自分の意見を深めることに繋がった。
小学校・義務教育学校（前期）	<p>3年生の国語の授業で漢字の意味を考える場面で、ジャムボードを用いて、付箋を並べ替えるクイズを作った。短時間で楽しめるクイズが作れた。また、全児童のクイズを一人一人が楽しむことができた。</p> <p>5・6年生の体育のマット運動の授業で、カメラ機能や遅延アプリを用いて、自分の演技を確認できるようにした。また、お手本となる動画を作成し、ループ再生をすることで繰り返し確認できるようにした。自分の演技とお手本を見比べて練習することで、上達につながった。</p>
小学校・義務教育学校（前期）	<ul style="list-style-type: none"> ・6年算数で、比例と反比例の単元の1時間目に比例と反比例を同時に扱い、グラフや変わり方のきまりを比較する授業を行った。エクセルにあらかじめ表とグラフの枠を作成しておくことで瞬時にグラフ化することができ、児童もさまざまな気付きをもち、単元の課題をつかむことができた。 ・6年の家庭科で、SKYMENUの発表ノートを使い、献立作成の授業を行った。食品を1つ1つ切り離した画像にして準備しておくことで、児童が作成した献立の栄養バランスが良いかどうかを食品グループごとにわけて確かめ、1時間という短い時間の中で、作成した献立の見直しまで行うことができた。